

令和6年度（第26回）善通寺市子ども・子育て支援会議 議事録

1 日 時 令和6年12月19日（木）15時30分～17時00分

2 場 所 ZEN キューブ3階 講習室3

3 出席者 委員11名
欠席4名

4 会議の概要

1. 保健福祉部部長挨拶

2. 会長・副会長挨拶

3. 議事

（1）子ども・子育て支援事業計画に係る素案について

（2）その他

5 資料

・第3期善通寺市子ども・子育て支援事業計画素案

6 会議録

1. 議事

第3期善通寺市子ども・子育て支援事業計画素案

〔事務局〕アンケート調査結果について、業務委託先である株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所より、前回（平成30年度）調査との比較を説明。

事務局より、「第3期善通寺市子ども・子育て支援事業計画素案」の内容について説明。

」

〔会長〕各委員様の立場からご意見があればいかがでしょうか。。

前回のアンケート調査結果と比較すると、善通寺の子育て支援に対する満足度が下がってきている。その他、前回調査から変化している点が見受けられる（ホームヘルプサービスの需要増など）。（前回調査にはなかった）新しいところで行くと、「子育て支援のオンライン化を充実させること」といった話も出ている。

〔委員〕こども誰でも通園制度について、月に10時間までの利用という話があるが、その限られた時間の中で、現場のスタッフが子どものことを理解できるのか、また、子どもも、環境に慣れることが難しいのではないかと。また、一時預かりとの併用を考えたとき、費用面の負担が気になる点ではある。

その他、物価高騰の影響について、おむつや粉ミルクの費用に対しての助成など、子育て家庭への経済的な支援の仕組みがあれば子どもを産み育てることに対するハードルも下がるのではないかと感じる。

〔会 長〕 こども誰でも通園制度については全国で試験的に実施している自治体があり、その中で課題も出てきていると思われる。善通寺市で実施するとなったときに現場としてどのような問題があるか。現実的な問題として、現場で対応できるものなのか。

〔委 員〕 施設側が受け入れができなければ実施は困難。（余裕活用型を前提とすると）施設が受け入れ可能な日時と利用者の希望が一致しない可能性がある。児童が様々な子たちとふれあい、交流できる機会があることは大事なことだと思う。

〔会 長〕 こども誰でも通園制度について、保育サービスを補完するものではないだろうが、保育施設への入所に至ってない子どもが、サービスを利用できる選択肢が広がるということにはなる。

〔委 員〕 こども誰でも通園制度の対応について、個々の子どもについて考えると、環境に慣れるのに時間がかかる子や保育士が1人ついていないといけない子がいるなど様々である。

〔会 長〕 運用面の課題として、どのように安全を確保するかなどは、これから考えていかなければならない。

〔委 員〕 施策体系について、事業の名称は記載があるが、善通寺市として現場に対してどのように取り組んでいるのかといったことが分かりやすい見せ方の工夫があってもよいのではないか。また、施策の体系図の表記、表現について、今の時代に合わせた表現などができないか。

〔会 長〕 見せ方の問題について、本計画が市のホームページに公開された場合、市民の目にとまるものか。市民が計画の内容を確認できるよう、計画の内容と対応するホームページの記事をリンクさせるなど、DX化について考えるとよいのではないか。

〔委 員〕 地域子育て支援事業の名称が統一されていないので、統一していただきたい。
療育・通所支援事業について、この取り組みは善通寺市の特色だと思うので、表記に含めていただきたい。

計画に掲載されている写真について、見た人がどこでなにをやっている写真か分かる表記にしてはどうか。

医療的ケア児に対する支援について、記載されているものは市の事業であると思

うが、民間が実施している事業も含められるなら記載をしてはどうか。

中高生のふれあい体験について、「ふれあい」の表記がひらがな、漢字が入り混じっているのを統一していただきたい。

〔会 長〕できあがった計画について、読み込まないと内容が把握しづらいと思われる。子育てサービス関係だけを抜粋した抜粋版、概要版があれば分かりやすい気がする（紙にこだわらず、電子版でも、施策を年齢、世代ごとにまとめたものでも）。市民に関心を持ってもらうのが肝心。やっていることに対して市民に伝わり、必要なサービスを取捨選択して利用できるようにしてはどうか。

〔委 員〕一時預かり事業について、利用者数のカウントが分かりづらい。表の単位について分かりやすいよう表記の検討をしていただきたい。

〔委 員〕不登校児対策に対して触れられていないが、無くてよいのか。計画に盛り込み、情報として市民に分かるように掲載してはどうか。

〔会 長〕市で実施しているものは盛り込んだほうが良い。どこがどのように実施しているかが分かればよいと思う。

〔委 員〕小学校への接続・連携について、これまでよりも細やかな情報共有、連携の強化ができないものか。就学支援について、関係機関が円滑に連携できる仕組みはとれないか。

〔副会長〕発達障害の子どもが多い。受診の予約も予約待ちの状態。診断がつくまでの期間は保護者も不安。その不安を取り除く繋ぎの対策はとれないものか。

〔会 長〕取り組みについて、善通寺市が実施していることを伝えるためにも、計画の表記に盛り込んではどうか。診断名がつくまでだけでなく、その後のフォローアップ体制も整備しているのは他市と比べても土台があるという強みが善通寺市にはある。

〔委 員〕保育士は不足してきていることに対して、早朝や遅い時間の保育時間や休日保育、病児保育のニーズは高まっている。各園で対象児童は少ないとしても、対象児童がいれば保育士を配置し、園を開けなければいけない。一つの園ですべてに対応するのは困難であり、そのようなニーズに特化した園を設置し、それぞれの役割について対応するということが将来的に必要となってくるのではないか。

〔委 員〕フードリボンプロジェクトの記載について、子どもの貧困と関連付ける表記にできればよいと思う。フードリボンについて、これは何？という質問が多かったとい

うことがあった。

〔委 員〕発達相談について、市で実施しているものがあるので、市民が相談先の選択肢として知ることができるよう事業の説明に盛り込んでどうか。

〔会 長〕本日の協議により、計画に修正箇所等が出てきたと思う。事務局のほうで修正、検討をいただきたい。その他無ければ、進行を事務局にお返しする。

(3) その他

〔事務局〕今後の予定として、年明け、1月中旬ごろから1か月間、パブリックコメントを実施する。その後、計画に修正があれば、2月中旬ごろに次回会議の開催を予定しているので、委員の皆様のご出席をお願いしたい。

－ 閉会する －